

事務事業名	菅谷たたら山内保存修理事業		所属部	教育委員会	所属課	文化財課	
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	文化財・文化振興グループ	課長名	山崎 修
	施策名	〈31〉地域文化の振興		担当者名	高橋 誠二	電話番号	0854-40-1075 (内線) 2231
	目的 対象	市民	意図	地域文化を正しく理解し、文化財の保護と活用に努めるとともに、文化芸術に親しみ創造する。			
	基本事業	〈089〉地域文化の保存継承		予算科目	0:1:5:0:0:1 2:5:4:5:0:6	大事業名	文化財施設整備事業 中事業名 菅谷たたら山内保存修理事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
菅谷たたら山内 各施設	保存修理工事の実施

③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)

事業期間	菅谷たたら山内保存修理工事
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	対象施設
<input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度～)	高殿:入母屋造こけら葺1棟 334.9㎡、元小屋:切妻造こけら葺1棟 293.8㎡、米倉: 切妻造こけら葺1棟 58.1㎡、山内祠・金屋子祠・元山祠・牛頭天王祠・愛宕秋葉金刀比羅祠・拝殿5棟、三軒長屋:切妻造こけら葺1棟、桂の木1株
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H24 年度～ R5 年度)	

④ 主な活動

R3年度実績(R3年度に行った主な活動)

- ① 工事監理業務委託契約事務
- ② 実施設計業務委託契約事務
- ③ 保存修理工事請負契約事務
- ④ 工程管理協議
- ⑤ 次年度事業内容協議

⑤ これまでの改革・改善経緯

(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)

国指定文化財の保存修理として、計画どおり適切な調査、設計、施工を行っている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	R4年度 (計画)
ア 基本設計進捗率	%	100.0	100.0	100.0	100.0
イ 実施設計進捗率	%	82.0	87.0	91.0	100.0
ウ 修理工事進捗率	%	75.0	82.0	89.0	100.0
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移					
報償費83千円、消耗品費38千円、委託料7,841千円、工事請負費67,124千円	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)	
【財源内訳】 地方債:過疎債(25,000千円)	国庫支出金	千円	47,500	25,000	37,500	37,500
	県支出金	千円	15,833	8,333	12,500	10,000
	地方債	千円	31,600	16,700	25,000	27,500
	その他	千円				
	一般財源	千円	68	63	86	100
	事業費計	千円	95,001	50,096	75,086	75,100

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	予定通り工事を進めることができた。
② 事業実施するうえでの課題	令和2年度は、コロナ禍の状況にあっても、三軒長屋の修理を順調に進めることができた。
③ 課題解決に向けた改革改善等	国及び県への働きかけを強め、早期に保存修理工事が完了することを目指す。